

同じに見えて実は違う！ 乳歯と永久歯



「乳歯から永久歯になったけど...同じじゃないの？」そんな疑問を感じたことはありませんか？顎の成長に合わせてるように、人の乳歯は20本、永久歯は32本。乳歯に比べて大きくなる歯もあります。でも、見た目以外の部分にもこんな違いがあるんです！

見た目はほぼ一緒なんだけど...?

歯の表面は鉄よりも硬い「エナメル質」で覆われていますが、永久歯はこのエナメル質の厚みがなんと乳歯の約2倍。同じに見えても、強さが違うのです！

永久歯は何十年も使うので、頑丈にできているのは当たり前ですね。しかし、その永久歯も生えだての時期はまだエナメル質が弱く、むし歯になりやすいので注意が必要です。特に、前から6番目の永久歯(6歳臼歯)は、噛み合わせ・噛み砕く力の中心で非常に重要な歯である一方、歯ブラシが届きにくく、また、溝も深く汚れが残しやすいので、とてもむし歯になりやすい歯です。



しっかりバトンをつなごう

とはいえ、乳歯は永久歯が生えるまでの仮の歯ではありません。永久歯は乳歯の場所を目印にして生える場所を決めるので、むし歯などで早期に乳歯を失ってしまうと、永久歯が迷子になって歯並びに大きな影響を与えます。

歯は長い人生をずっと共にする大切なパートナー。永久歯はもちろん乳歯も重要な役割を担っていますので、よちよち歩きの間からしっかりケアをして、健康な歯を守ってくださいね。



右の絵と左の絵に違うところが10個あるよ! 探してみよう! 間違い探し「コスモス列車」



痛い!! こんなにある 「歯がしみる原因」とは

もしものときの歯の知識

歯の痛みの代表ともいえる「しみる」という症状、実は皆さんの想像以上にいろいろな原因があります。もしものときの知識として、ぜひこの記事を保管しておきましょう！



原因 1

知覚過敏でしみる...



歯はエナメル質という硬い組織で守られています。しかし、歯の磨きすぎ・酸性食品の摂りすぎなどによりエナメル質が薄くなると歯がしみてしまいます。

原因 2

歯ぎしりで歯の根元が削れる

歯ぎしりによって歯の根元が写真のようにえぐれてしまう場合があります。もともと歯の根っこにはエナメル質がなく、さらにこうしてえぐれてしまうと歯がしみるようになります。



原因 3



歯周病による歯ぐき下がり

歯周病は進行していくと歯ぐきが下がっていき、歯の根っこが露出してしまいます。歯の根っこはエナメル質がないため、ちょっとした刺激でもしみてしまうことがあります。



原因 4

むし歯でしみる...

「しみる」症状の代表といえば、やはりむし歯です。歯の中には神経があり、むし歯によってその神経に刺激が加わることがしみる原因。進行してしまうと歯の神経を取らねばならず、歯の寿命が短くなってしまいますので注意が必要です。



原因 5

歯が割れている

ケガなどで歯が割れてしまうと、しみるという症状が出る場合があります。またケガだけでなく歯ぎしりや食いしばりによって割れてしまうこともあります。



まずは歯科医院へお越しください!

「しみる」原因はさまざま。知識としてぜひ知っておいていただきたいですが、一番大切なのは、「しみる」と思ったらまずは歯科にご相談いただくこと。放置すると大きなトラブルに発展することもあるので、なるべく早めにご来院ください。